【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	沖縄県

Ⅰ　学校の概要（平成１５年４月現在）

学校名	下地町立 下地小学校								
学　年	１年	２年	３年	４年	５年	６年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	2	1	1	2	1	9	１４
児童数	４０	３３	４６	３７	３５	４８	2	２４１	

Ⅱ　研究の概要

１．研究主題

学ぶ意欲を持って自ら考える子の育成をめざして
－個に応じた指導方法の工夫を通して－

２．研究内容と方法

(1)　実施学年・教科

全学年：算数（学力の差がつきやすい教科だから）

(2)　年次ごとの計画

平成14年度	○テーマ 学ぶ意欲を持って自ら考える子の育成をめざして ○仮説 算数，国語の授業において，きめ細かに個に応じる指導のあり方やそのための教材などを工夫・開発し，指導に生かすことにより「学ぶ意欲を持ち自ら考える子」が育つであろう ○研究内容 (1)　個に応じた指導の工夫 ①　少人数授業を取り入れる。（３年，４年） 国語と算数においてクラスを少人数に分け，一人一人をきめ細かにみていくようにする。 ②　ボランテイアの協力による個別指導 学習の遅れが著しく影響する「数と計算」の領域で養護教諭と４人のボランテイアの先生方の協力を得て，個別指導を行う。 ③　個人の記録を残す ・特別な指導を要した児童については，その指導の内容を継続して記録していき，その児童に関わる教師が目を通せるようにしておく。 ・国語と算数について,単元ごとのテストの結果を一覧表で残しておき,学期末や学年度末に苦手な箇所の復習に生かせるようにする。 ④　進んでいる子への授業中の対応を計画する。 ・練習問題を速く解き終えた時などに，その授業で学んだことを生かして問題作りをさせる。 ・児童が作った問題の中で使えそうな物をコピーしておき，練習問題としてお互いに解かせる。 (2)　発展的な教材と補充的な教材

① 百ます計算
四則演算を速く正確にできるようにさせるために，百ます計算のプリントを繰り返し練習させる。四則演算がすらすらできるようになると，自信を持って算数の学習に取り組むようになり，意欲的に学習するようになることが期待できる。
② 算数クイズやタングラム遊びができるようなコーナーづくり
ワークスペースに算数クイズやタングラムを掲示し，学年を問わず興味を持った子は誰でも解くことができるようにしておく。
(3) 評価を指導に生かす工夫
算数において１時間１観点の評価カードを作成し,記録することにより,その日の授業をふり返ることができるようにしている。
・練習問題を終えることができた順位を記録する。
・机間指導の際に○つけをするときに特にアドバイスが必要だった子を記記録する。
・ノートを提出させて評価する。

平成15年度

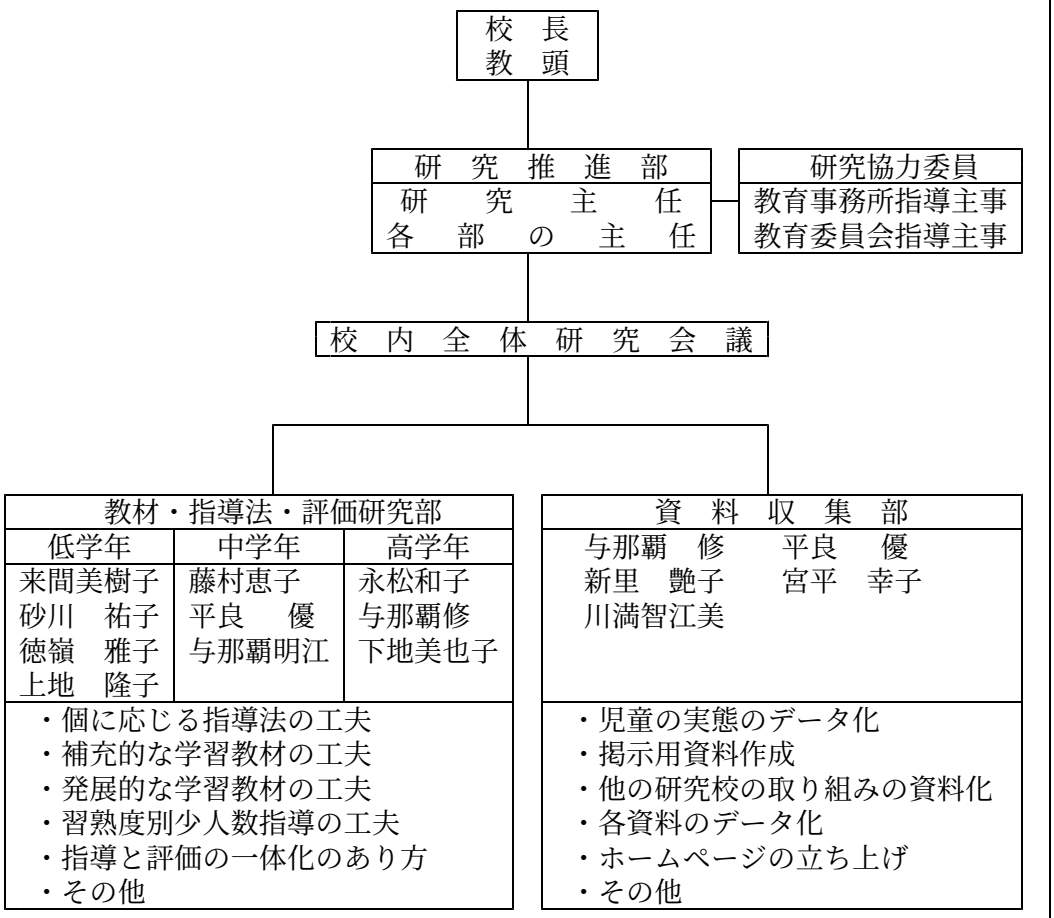
○テーマ
学ぶ意欲を持って自ら考える子の育成をめざして
○仮説
算数の授業において，発展的な学習や補充的な学習の取り組みを工夫し個に応じた指導法を工夫・改善を展開することにより、「学ぶ意欲を持ち自ら考える子」が育つであろう。
＊今年度は算数に重点をおき個に応じた指導の工夫・改善に努めた。
○ 研究の内容・方法
(1) 個に応じた指導の工夫
① 少人数授業を取り入れる。（２年，４年　指導法工夫改善加配）
国語と算数においてクラスを少人数に分け，一人一人をきめ細かにみていくようにする。
・習熟度別指導の実施
４年生の算数において学力の差が著しく，一斉指導が困難なため各単元で，前提テストを実施して児童の実態を把握し，その上で習熟の程度に応じた学習集団を編成し，教師２名と学習支援者で協力して指導を行うことにしている。
◎どんどんコース（教科書の内容を中心に取り組ませ，必要に応じて練習問題や発展問題にも取り組ませる）
◎ゆっくりコース（教師の指導を中心に，基本となる内容が身につくように具体物操作を多くを取り入れていく。）
・単学級における習熟度別指導の実施
３年と６年で実施している
② 学習支援者による学習協力個別指導（４年）
授業に集中できない児童に対し、いつも傍らにいて注意を促し、学習に対する集中力を持続するような手助けをしている。
また，授業についていけず手持ちぶたさになって児童に対して、適宜に指導を行い授業の理解を深める手助けをしている。担任教師の業務の軽減化をおこなっている。（給食指導，清掃指導）
③ １年生４０人学級への加配（緊急地域雇用創出事業教員補助者派遣
・全教科のＴＴ指導　（H 15 年度から）
④ 個人の記録を残す
・特別な指導を要した児童については，その指導の内容を継続して記録していき，その児童に関わる教師が目を通せるようにしておく。
・単元ごとのテストの結果を一覧表で残しておき，学期末や学年度末に苦手な箇所の復習に生かせるようにする。
(2) 発展的な学習の教材と補充的な学習の教材
① 発展的な学習の教材
・個に応じた指導に関する指導資料（算数）ー文科省ー等を発展的な教

	材として活用する。 ・進んでいる子への授業中の対応 練習問題を速く解き終えた時など，その授業で学んだことを生かした問題作りをさせる。 ② 補充的な学習の教材 ・マスターシートを補充的な教材として活用する。 ・計算ドリル（百ます計算等） 四則演算を速く正確にできるようにさせるために，百ます計算のプリントを繰り返し練習させる。四則演算がすらすらできるようになると，自信を持って算数の学習に取り組むようになり，意欲的な学習が期待できる。 ・計算カード，フラシュカードの活用 導入時においてコンピュータを通じてテレビ画面に写し出す計算フラシュ，計算スクロールの活用は授業への集中力を高める事ができる。 ・繰り返し計算カード（繰り返し指導） 導入時に 10 分間程度基礎・基本が定着してない児童中心に実施している (3) 評価を指導に生かす工夫 ①観点別評価の工夫 （１時間に１観点の評価を計画し，評価カードに記入していく。 ②評価計画を立て，評価カードに記入していく。 ・観察評価（特に目立った子を記録する。発表した、個別指導を要した等） ・ポートフォリオ（コメント，ワークシート，自己評価など） ・マスターシート，単元テスト ③児童の理解度把握のためノートチェック ④習熟度別指導のための前提テスト，事前・事後テスト等の工夫 ⑤座席表による個人チェックリストの作成

平成16年度	○ テーマ 学ぶ意欲を持って自ら考える子の育成をめざして ○ 研究の見通し 算数の授業において，個に応じるための発展的な学習や補充的な学習の取り組みを計画実践し，その結果を評価して次の指導に生かしていくというＰＤＳのサイクルを繰り返すことにより、「学ぶ意欲を持ち自ら考える子」が育つであろう。 ○ 研究の内容・方法 (1) 個に応じた指導の工夫 (2) 発展的な学習の教材と補充的な学習の教材 (3) 評価を指導に生かす工夫 (4) ＰＤＳサイクルを効果的に行うための工夫

(3)　研究推進体制

＊研究組織図



＊今年度は 教材・指導法・評価研究部を一つの部にまとめ，実際に学級で教材作り・指導法の工夫・評価をしている学級担任，加配教諭等を主に配置した。

Ⅲ　平成１５年度の研究の成果及び今後の課題

１．研究の成果

・標準学力検査の算数において、現４年生が去年より平均点が 4,5 点上昇した。
　この学年は去年から加配教諭がつき、ＴＴ指導，少人数指導，習熟度別指導，ボランティアの先生方の指導の成果だと言える。
・４年生の学級に学習支援者が入り，夏休みの補習指導，その他の取り組み等により単元テストの平均点が１学期より２学期は 3,4 点アップした。
・学習支援者を採用したことにより，児童の学習態度に落ち着きが見られ学習意欲も増してきた。
・多様な指導法により，発言の場や分からないことを質問する機会が増え，きめ細かな指導をすることにより，意欲的な学習態度が身についた。
・少人数指導，習熟度別指導，ＴＴ指導などで机間指導の際，児童をきめ細かく見ることができ，つまずきを早く見つけ，個別指導ができた。
・コンピュータを活用することにより授業への集中を高め，念頭操作でもできるようになった。
・百ます計算を毎日やることにより計算が速くなって，計算に自信を持つようになった。算数の好きな子が増えた。
・少人数指導も単元，指導計画によって等質，ＴＴ，習熟度別と形態を変えた方が成果が得られた。

２．今後の課題

・習熟度別指導法の学習指導案の形式についてさらに工夫・改善が必要である。
　また，単学級における習熟度別指導法の工夫・改善も必要である。
・加配教諭と担任の打ち合わせを行う時間の確保が難しい。
・発展的な学習や補充的な学習の教材開発が必要である。
・児童自身の自己評価を取り入れて，学習集団の編成を行わせたい。

Ⅳ　学力等把握のための学校としての取組

・毎年１学期始めに２年生～６年生に前学年の学力定着度を見るために標準学力検査，読解力等を見るために標準読書力診断テストを行う。

Ⅴ　フロンティアスクールとしての研究成果の普及

・下地町学力向上対策実践成果報告会において、フロンティアスクールとしての取り組みを報告する。（Ｈ１６，２，１７、下地町，学校関係者，地域，保護者，その他）
・ホームページを作成し，研究の内容を記載する。（予定）
・研究冊子を作成し，島内の小学校に配布。

◇　次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】　□１５年度からの新規校　☑１４年度からの継続校

【学校規模】　□６学級以下　☑７～１２学級
□１３～１８学級　□１９～２４学級
□２５学級以上

【指導体制】　☑少人数指導　☑Ｔ．Ｔによる指導
□一部教科担任制　□その他

【研究教科】　□国語　□社会　☑算数　□理科
□生活　□音楽　□図画工作　□家庭
□体育　□その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】　☑有　□無